

第 87 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 平成 27 年 11 月 26 日（木）13:30～14:15
- 2 開催場所 湯河原町役場 第二庁舎第一会議室
- 3 委員総数 13 名、出席委員数 9 名、欠席委員数 4 名
出席委員の氏名 坂間庸男、高久浩士、深田真弓、西海裕代、藤掛美和子、
鈴木友則（村松宏悦代理）、石黒英亀、小泉貴博、浅原晃
欠席委員の氏名 角田美佐子、出口直樹、苅谷和彦、浅沼宇雄
放送局側出席者 野原裕、渡辺昭信、野田英尚
- 4 議 事 ①番組聴いてのご意見 ②皆様からのご意見
(1) 委員長より挨拶（坂間委員長）
ご意見をよろしく申し上げます。
- 5 議事の概要 試聴番組について説明
(1) 広報・あたまゆがわら情報局
平日 10:00～10:50、全日 15:00～15:50 で放送しています。1 週間で 4 パターンを組み合わせると 1 日で同じものが流れないようにしている。30 分間
が熱海市、20 分間が湯河原町、内容はそれぞれの広報誌から取り上げたもの
を流している。パーソナリティが告知するものと各行政の担当者が直接話
すものとパーソナリティと担当者が対談で話す 3 パターンで行っている。長
いもの 2 分半、短いもの 1 分位となっている。8 分間を一区切りとして、曲
を 2 分流すパターンとしている。曲も落ち着いたものを選定している。抜粋
した録音放送を聴いていただき、ご意見を申し上げます。
- 6 審議内容 番組審議
(1) 番組視聴（3 パターンの抜粋）
委員よりの意見
・必要な番組と思う。時間帯が 10 時と 15 時となっているが、再放送を
してもよいと思う。音楽も静かなものになっている。
・担当者が一人で話すよりは、パーソナリティと掛け合いが良いように思
える。町民カレンダーに掲載されている内容も伝えていただければと思う。
・生活に必要な内容を伝えてもらうことはしてもらいたい。
・湯河原町は今年 4 月から職員が話している。職員はテンポがなく、素人
感がある、聞きづらくないのか心配している。パーソナリティの方が話し
はうまい、聞きやすいのではないか。
・職員の慣れている人とそうでない人がいて、聞いていて固い人は練習が
必要ではないかと思う。業務が複雑で情報量も多かった問題もあると感じ
た。曲も年代が同じようなものが多い、リスナーの幅を広げるには、その
ような曲もバリエーションとして良いのではないか。

・職員で不慣れな話しも面白い、いろいろあって良いのではないか。マイナンバーは対談形式で聴きやすかった。

・担当者は原稿読みになり、それはそれでリスナーが聴く体制になる。書き言葉を話し言葉にしてもらおうとより聴きやすくなる。アドリブが入っても良いのではないか。広報番組なので、きちんと読まなければならないと思っている部分もある。パーソナリティと話してみる。

・いろいろなパターンがあって良い。この内容は誰に聞けば良いか、提出の書類はどうすれば手に入るのか、そのような案内をお願いしたい。行政担当者がもっと身近になるように、私に聴いてくださいというような案内をするともっと身近になると思う。

・わかりやすくするシナリオ化や掛け合いをする必要がある。聴く人が誰か放送時間の検討が必要となっている。

7 会社からの答申

なし

8 会社からの連絡

10月26日に再免許が通知された。基幹放送局として設備増強し、初島からの送信となった。二つの県をまたぐのも島から本局送信も日本で初めてで、慎重に審査された。今後とも運営をきちんとしていきたい。以上、報告とお礼としたい。

9 審議機関の答申または、意見を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

第87回番組審議委員会議事録は、12月下旬に事務所に据置、また、当社ホームページにて公表。

10 その他参考となる事項

次回は、1月28日（木）13:30に熱海で開催する予定です。